

岩手県における学校防災教育の実施状況について

牛山素行¹

1. はじめに

防災対策の一手法として、経験や伝承なども含めた広い意味での防災教育が重要であることは明白である。わが国においては、特に1995年の阪神・淡路大震災以降に防災教育に対する関心が高まりつつあり、各種の教材が整備されつつあるほか(伊村;2003, 杉田;2003), 兵庫県では高校に「環境防災科」が設置されるといった動き(三浦, 2001)も出ている。防災教育の機会は、(1)学校教育と、(2)地域や家庭での教育の2つに大別できる。防災教育の効果は、学校教育より地域や家庭での教育の方が効果的であるとの指摘があるが(ショウラジブら;2004, 片田ら;2000), かたよった経験にもとづく単なる伝承が、災害時にかえって被害を拡大する可能性も指摘されている(五十嵐, 1992)。また、数十年前に大きな災害を経験しているような地域では、学校教育、地域での教育共に年々機会が減少していくという指摘もある(片田ら, 2000)。防災教育を巡る情勢も年々変化しており、今後の学校や地域での防災教育のあり方を考える上では、まず体系的な現状把握が重要である。

本調査は、岩手県を対象とし、小、中、高校においてどのような防災教育が行われているかを把握することを目的とする。岩手県は、過去に大規模な津波災害などを経験しており、津波災害を中心とした自然災害に対する関心が高い可能性がある。しかし、いずれの災害も発生から数十年が経過しており、経験や記憶が風化していることも考えられる。集計方法は様々に考えられるが、ここでは、全体の集計結果、並びに学校の種類別の集計結果について報告する。

2. 調査手法

調査対象は、岩手県教育委員会発行の「学校一覧 平成 19 年度」(岩手県教育委員会, 2007a, 2007b)をもとにして、2007 年度に岩手県内に所在したすべての小学校、中学校、高等学校とした。なお、小学校および中学校の分校は除外し、特別支援学校についても除外している。この結果、調査対象の学校数は、小学校 426, 中学校 198, 高等学校 93 の合計 717 校となった。

調査票は、2008 年 2 月 1 日に各学校宛に郵送付し、同年 4 月上旬までに郵送回収した。有効回答は 588 通(小学校 348, 中学校 170, 高校 69, 校種不明 1), 回収率は 82.0%だった。

3. 結果

3. 1 各種防災教育実施状況

様々な防災教育の例を挙げ、その実施状況について尋ねた結果が図 1 である。なお、ここでは結果を単純化して示すために、「児童・生徒全員を対象に実施」、「特定学年にのみ実施」、「一部の児童・生徒を対象に実施」の合計を「実施」、「実施していない」、「詳しく把握していない」の合計を「非実施・他」としている。また、教職員の防災関係の研修への参加は、「受講・参加している教職員がいる」が「実施」、「受講・参加している教職員はいない」「詳しく把握していない」の合計が「非実施・他」としている。防災関係の展示については、「常設の展示を行っている」と「期間を限った展示を行った」の合計が「実施」、「行っていない」「詳しく把握していない」の合計が「非実施・他」としている。

いずれの教育内容についても全般に実施率は低く、もっとも実施率の高い「岩手県で過去に発生した三陸津波、チリ津波などの津波

¹ 静岡大学防災総合センター

災害についての紹介や学習」や「岩手県で将来発生が予想される地震、津波、台風や大雨による災害、火山災害についての紹介や学習」でも 36%前後にとどまっている。副読本やパンフレットの配布などは、実施が容易のようにも思われるが、実施率はかならずしも高くない。実施に当たって何らかの予算措置やまとまった時間が必要な「自然災害を主な対象とした展示・体験施設の見学」や、「教職員以外の外部専門家や災害経験者などによる、自然災害に関する講演」は実施率が 1 割以下であった。

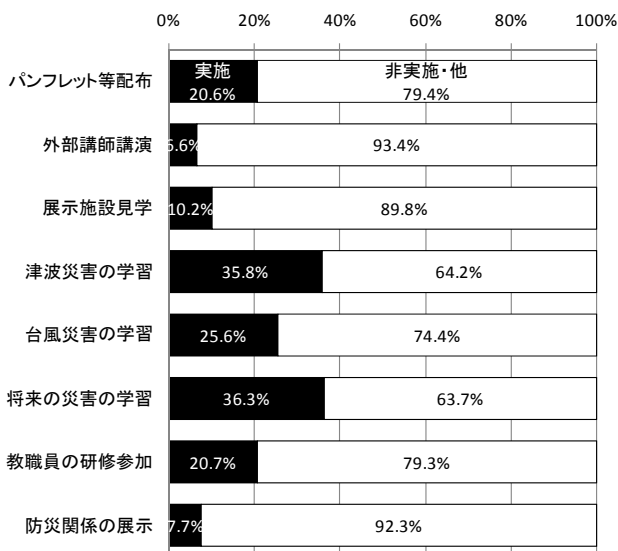


図 1 防災教育の実施状況

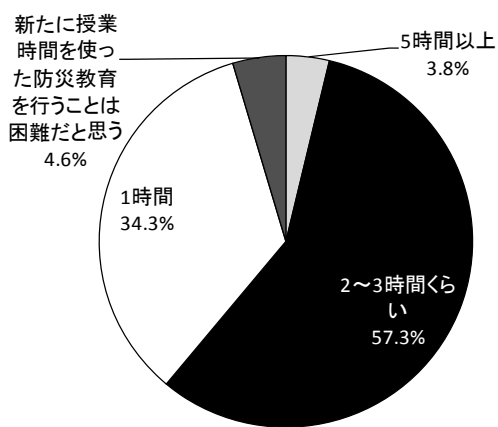


図 2 防災教育に充てられる時間

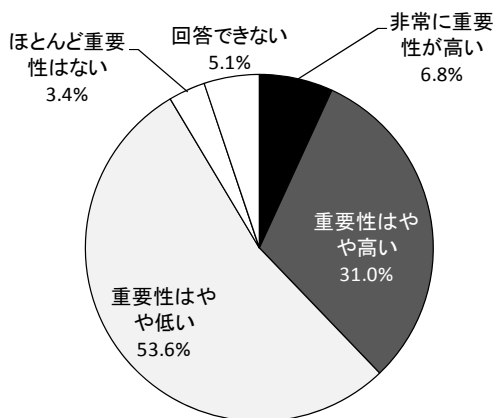


図 3 防災教育の重要性

3. 2 防災教育に充てられる時間

「仮に、学校側は時間を提供するのみでよいという条件で、授業時間中に、なんらかの防災教育を行うとしたら、1 年間に何時間くらいを当てるのが可能だと思いますか。最も多くの時間を当てることのできる学年の場合についてお答え下さい」に対する回答が図 2 である。「1 時間」だけで 34%に上り、3 時間以下で 90%以上を占める。様々な機能を求められる現代の学校においては、「自己の負担無し」という条件下であっても防災教育に割ける時間はかなり限定的であると考えられる。防災教育の推進者側は、とすれば学校に対して大きな期待を寄せてしまうこともあるが、学校側の事情も十分に踏まえた上での現実的な取り組みを進めることが望まれる。

3. 3 防災教育の重要性

「貴校において、総合的な学習の時間や特別活動などの教科教育以外の時間に取り上げる題材・テーマとして、「自然災害」や「防災」は、他の様々な題材(「環境」など個別のテーマのほか、進路指導なども含みます)と比較すると、どの程度の重要性があると考えられるでしょうか。」に対する回答が、図 7 である。重要性が高いとする回答(非常に重要性が高い、重要性はやや高い)は合わせて 39%程度で、過半数に満たない。3. 3でも述べたように、学校教育で取り扱うことが期待されている内容は多岐にわたっており、防災教育はその

one of them であって、けっして特別な存在ではないことがここからも示唆される。教育＝学校、と固定的にとらえず、様々な機会を生かした防災教育の可能性を探っていくことが重要だろう。

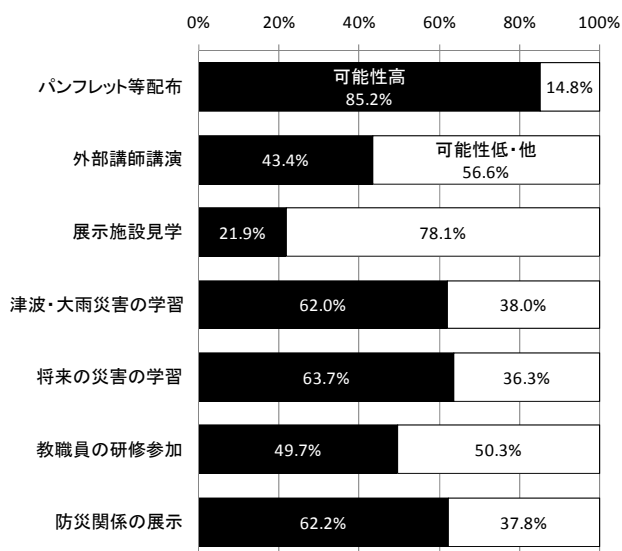


図 4 防災教育の見通し

3. 4 今後の防災教育の可能性

今後の防災教育の可能性として、「仮に、教材などが外部から無償で提供されるとしたら、下記のような取り組みを、来年度以降、貴校でも実施できる可能性はあると思いますか」と尋ねた結果が図 4 である。この図でも単純化のため、「確実に実施できる」、「実施の可能性は高い」の合計を「可能性高」とし、「実施の可能性は低い」、「実施は不可能である」、「回答できない」の合計を「可能性低・他」としている。

実施状況についての類似質問(図 1)に対する「実施」回答の比率と比較すると、いずれの内容についても「可能性高」の比率がかなり高く、特に「自然災害を主な内容とした副読本・パンフレットの配布」では「可能性高」が 85.2%に達している。パンフレットを作成し、学校宛配布できる体制が整えば、その配布にはほとんどの学校が対応できるものと思われる。一方、「自然災害を主な対象とした展示・体験施設の見学」は、「可能性高」が 21.9%にとどまっており、仮にこのような施設

の整備だけを行ったとしても、積極的に訪問する意向を持つ学校は少数派であることが示唆されている。また、「外部から無償で提供される」という条件付きでも「教職員以外の外部専門家や災害経験者などによる自然災害に関する講演」は「可能性高」が 4 割程度にとどまっている。防災教育に当てられる時間数としてかなり限られた時間を挙げる回答が多かったことから、講演のような、実施と準備に時間を要する取り組みに対してはやや消極的な回答が多くなっている可能性がある。

3. 5 学校種別との関係

最後に、回答を小学校、中学校、高校の 3 種別に分け、学校種別毎の回答について検討した。

まず、防災教育の実施状況についての結果を図 5 に示す。なお、ここでは比較的实施率の高かった「岩手県で過去に発生した三陸津波、チリ津波などの津波災害についての紹介や学習」、「岩手県で過去に発生したカスリン台風、アイオン台風などの台風や大雨による災害についての紹介や学習」、「岩手県で将来発生が予想される地震、津波、台風や大雨による災害、火山災害についての紹介や学習」の結果についてのみ示している。

いずれの内容についても、小学校→中学校→高校の順で「実施」の比率が低くなっている。また、小学校と中学校の実施率が比較的高く、これらと比べ高校が低い傾向がある。ただし、小学校においても、実施率はいずれも 4 割程度にとどまっている。

学校種別に、防災教育に充てられる時間の見通しを尋ねた結果を整理すると、図 6 のようになる。「2~3 時間くらい」が中学校でやや多く、「新たに授業時間を使った防災教育を行うことは困難」が小学校→中学校→高校の順で多くなる傾向が見られるが、「5 時間以上」の比率はほとんど変わらない。大半の学校が、「1 時間」または「2~3 時間」と回答している傾向は、学校種別にかかわらず大きな違いは見られない。

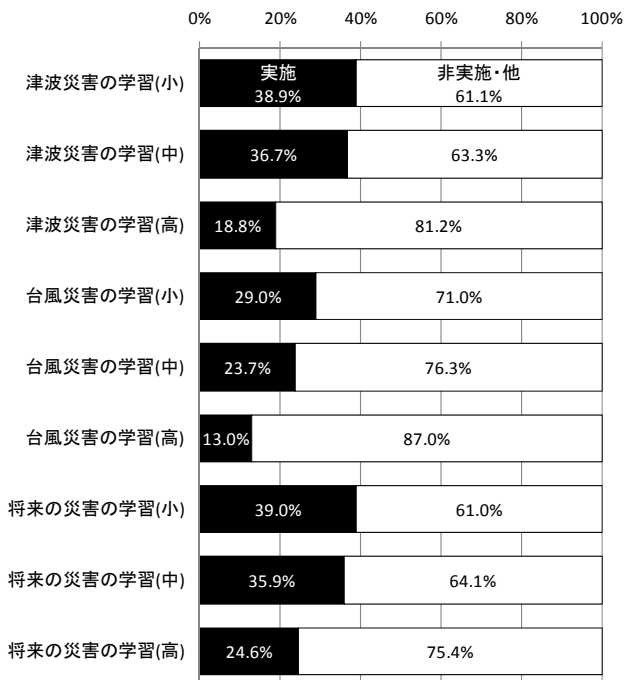


図 5 学校種別の防災教育実施状況

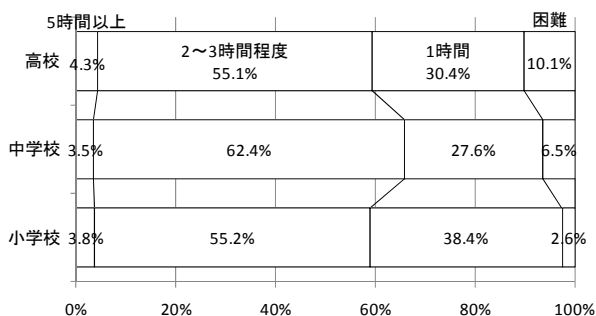


図 6 学校種別防災教育に充てられる時間

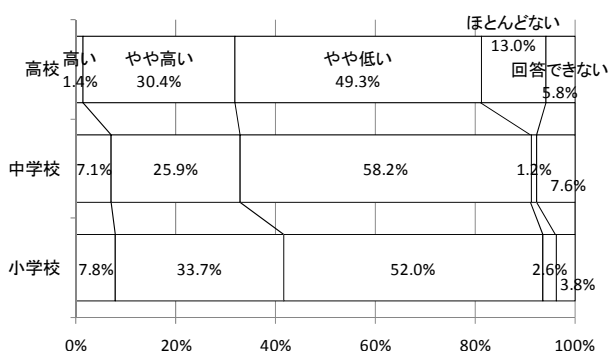


図 7 学校種別の防災教育の重要性

学校種別の防災教育の重要性についての回答は図 7 のようになる。「高い」および「やや高い」の合計が、高校と中学校では約 3 割、

小学校で約 4 割となっている。「ほとんどない」は小学校と中学校ではごく少数だが、高校では 13.0%となっている。

4. おわりに

調査対象地における防災教育の実施状況は、過去にたびたび大規模な災害を経験している地域であることも考えると、必ずしも十分であるとは言えそうにない。しかし、実施に当てられる時間数の見通しなどを見ると、多様な要請への対応が求められる現代の初等・中等教育現場に、多くの時間を割くスタイルの防災教育を導入することは困難が多いと考えられる。

学校種別に見ると、小学校、中学校の方がやや積極的な傾向が見られ、これらの学校に対する防災教育の導入が比較的容易かもしれない。ただし、小学校においても防災教育の重要性を「高い」および「やや高い」とする回答は半数以下である。教育＝学校と固定的にとらえず、様々な機会、場を利用した防災教育の可能性を探っていくことが重要だろう。

謝辞

本研究は、岩手県立大学総合政策学部地域政策講座が開講している実習科目「地域調査実習」の一環として、2007～2008 年度に実施したものである。結果のとりまとめに加わった、同学部学生(当時)の後藤尚美、近藤佳子、鈴木智善、橘逸美、吉田亜里紗のみなさんに感謝申し上げたい。また、本調査は、平成 18 年度岩手県立大学公募型地域課題研究「中・高校生を主な対象とした地域防災連携アクションプランに関する研究」の一部として行われたものである。調査実施に当たり、同研究の共同研究者である岩手県大船渡地方振興局には多大なご協力をいただいた。調査対象となった、岩手県内の小、中、高等学校の関係各位からは、ご多忙の中、多くの貴重なご意見をいただいた。

なお本研究の一部は、平成 19 年度科学研究費補助金「災害情報による人的被害軽減効果

に関する研究(研究代表者 牛山素行)」の研究助成によるものである。

参考文献

- 三浦巡, 舞子高等学校における防災教育 : 「総合的な学習の時間」における防災教育の取り組みと環境防災科の設備について, 教職教育研究 : 教職教育研究センター紀要,6,pp.87-94,2001
- 伊村則子, 学校教育における防災教育の現状とその分析--防災副読本にみる動機づけに関するケーススタディ, 武蔵野女子大学短期大学部紀要,4,pp.1-7,2003
- 岩手県教育委員会:平成 19 年度 学校一覧, 岩手県教育委員会ホームページ, <http://www.pref.iwate.jp/download.rbz?cmd=50&cd=4995&tg=3>, 2008/1/17 閲覧, 2007a.
- 岩手県教育委員会:県立学校一覧について, <http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?nd=1815&of=1&ik=3&pnp=86&pnp=1779&pnp=1815&cd=2537>, 2008/1/17 閲覧, 2007b.
- 杉田真理子; 松井宗彦, 学校における防災教育の点検と防災学習プログラムの開発, 茨城大学教育実践研究,22,pp.255-270,2003
- ショウラジブ・塩飽孝一・小林広英・小林正美, 高等学校における地震防災教育のあり方に関する研究 : 高校生を対象としたアンケート調査による意識影響要因分析を通して, 日本建築学会環境系論文集,585,pp.69-74,2004
- 片田敏孝, 浅田純作, 及川 康, 過去の洪水に関する学校教育と伝承が住民の災害意識と対応行動に与える影響, 土木学会水工学論文集,44,pp.325-330,2000
- 五十嵐之雄, 津波災害文化の比較と地域社会の防災情報ネットワーク, 東北学院大学論集 人間・言語・情報,101, pp.257-301,1992

素集計表

Q1貴校では、本年度、何らかの避難訓練・防災訓練を実施しましたか(3月末までの予定も含みます)。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	実施した(する予定)	579	98.5	99.5
2	実施していない	3	0.5	0.5
	有効回答合計	582	99.0	100.0
	無回答	6	1.0	
	全体	588	100.0	

Q2避難訓練・防災訓練を実施した場合、その訓練ではどのような災害(この設問のみ、火災を対象とします)を想定しましたか。当てはまる災害の種類に○をつけてください。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	実施せず	16	2.7	2.7
2	火災	572	97.3	97.3
	全体	588	100.0	100.0

Q3避難訓練・防災訓練を実施した場合、その訓練ではどのような災害(この設問のみ、火災を対象とします)を想定しましたか。当てはまる災害の種類に○をつけてください。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	実施せず	96	16.3	16.3
2	地震	492	83.7	83.7
	全体	588	100.0	100.0

Q4避難訓練・防災訓練を実施した場合、その訓練ではどのような災害(この設問のみ、火災を対象とします)を想定しましたか。当てはまる災害の種類に○をつけてください。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	実施せず	521	88.6	88.6
2	津波	67	11.4	11.4
	全体	588	100.0	100.0

Q5避難訓練・防災訓練を実施した場合、その訓練ではどのような災害(この設問のみ、火災を対象とします)を想定しましたか。当てはまる災害の種類に○をつけてください。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	実施せず	580	98.6	98.6
2	大雨・洪水	8	1.4	1.4
	全体	588	100.0	100.0

Q6避難訓練・防災訓練を実施した場合、その訓練ではどのような災害(この設問のみ、火災を対象とします)を想定しましたか。当てはまる災害の種類に○をつけてください。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	実施せず	584	99.3	99.3
2	がけ崩れ・土石流	4	0.7	0.7
	全体	588	100.0	100.0

Q7避難訓練・防災訓練を実施した場合、その訓練ではどのような災害(この設問のみ、火災を対象とします)を想定しましたか。当てはまる災害の種類に○をつけてください。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	実施せず	584	99.3	99.3
2	火山活動	4	0.7	0.7
	全体	588	100.0	100.0

Q8貴校が所在する場所は、次に挙げるような自然災害に対して安全だと思いますか。近いものをそれぞれ一つ選び、数字に○をつけてください。地震

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	安全	44	7.5	7.5
2	まあ安全	228	38.8	39.0
3	やや危険	138	23.5	23.6
4	危険	121	20.6	20.7
5	わからない	54	9.2	9.2
	有効回答合計	585	99.6	100.0
	無回答	3	0.5	
	全体	588	100.0	

Q9貴校が所在する場所は、次に挙げるような自然災害に対して安全だと思いますか。近いものをそれぞれ一つ選び、数字に○をつけてください。津波

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	安全	472	80.3	81.0
2	まあ安全	41	7.0	7.0
3	やや危険	17	2.9	2.9
4	危険	52	8.8	8.9
5	わからない	1	0.2	0.2
	有効回答合計	583	99.2	100.0
	無回答	5	0.9	
	全体	588	100.0	

Q10貴校が所在する場所は、次に挙げるような自然災害に対して安全だと思いますか。近いものをそれぞれ一つ選び、数字に○をつけてください。大雨・洪水

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	安全	88	15.0	15.0
2	まあ安全	224	38.1	38.3
3	やや危険	168	28.6	28.7
4	危険	94	16.0	16.1
5	わからない	11	1.9	1.9
	有効回答合計	585	99.6	100.0
	無回答	3	0.5	
	全体	588	100.0	

Q11貴校が所在する場所は、次に挙げるような自然災害に対して安全だと思いますか。近いものをそれぞれ一つ選び、数字に○をつけてください。がけ崩れ・土石流

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	安全	175	29.8	30.0
2	まあ安全	184	31.3	31.5
3	やや危険	142	24.1	24.3
4	危険	69	11.7	11.8
5	わからない	14	2.4	2.4
	有効回答合計	584	99.3	100.0
	無回答	4	0.7	
	全体	588	100.0	100.0

Q12貴校が所在する場所は、次に挙げるような自然災害に対して安全だと思いますか。近いものをそれぞれ一つ選び、数字に○をつけてください。火山活動

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	安全	377	64.1	64.4
2	まあ安全	119	20.2	20.3
3	やや危険	37	6.3	6.3
4	危険	20	3.4	3.4
5	わからない	32	5.4	5.5
	有効回答合計	585	99.4	100.0
	無回答	3	0.5	
	全体	588	100.0	

Q13児童・生徒が在籍している時間中に、気象台から気象警報(大雨, 洪水, 大雪, 暴風など. 津波は除く)が発表された場合, どのように対応する計画になっていますか.

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	原則として, 全生徒を帰宅させる	108	18.4	18.4
2	保護者の送迎など, 安全な手段が確保された生徒に限り帰宅させる	149	25.3	25.4
3	個別の状況を見て判断する	321	54.6	54.8
4	いずれも該当しない	8	1.4	1.4
	有効回答合計	586	99.7	100.0
	無回答	2	0.3	
	全体	588	100.0	

Q14児童・生徒を対象に, 自然災害を主な内容とした副読本や, パンフレットを配布していますか.

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	児童・生徒全員を対象に配布している	85	14.5	14.6
2	特定学年にのみ配布している	26	4.4	4.5
3	一部の児童・生徒に配布している	9	1.5	1.5
4	配布していない	417	70.9	71.5
5	詳しく把握していない	46	7.8	7.9
	有効回答合計	583	99.1	100.0
	無回答	5	0.9	
	全体	588	100.0	

Q15児童・生徒を対象に, 貴校教職員以外の外部専門家や災害経験者などによる, 自然災害に関する講演を実施していますか. 避難訓練の際の消防署員による「講評」は除きます.

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	児童・生徒全員を対象に実施している	23	3.9	3.9
2	特定学年にのみ実施している	8	1.4	1.4
3	一部の児童・生徒を対象に実施している	8	1.4	1.4
4	実施していない	547	93.0	93.0
5	詳しく把握していない	2	0.3	0.3
	有効回答合計	588	100.0	100.0
	無回答	0	0.0	
	全体	588	100.0	

Q16児童・生徒を対象に, 岩手県立総合防災センター(矢巾町)のような, 自然災害を主な対象とした展示・体験施設の見学を実施していますか. 消防署の見学は除きます.

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	児童・生徒全員を対象に実施している	4	0.7	0.7
2	特定学年にのみ実施している	35	6.0	6.0
3	一部の児童・生徒を対象に実施している	21	3.6	3.6
4	実施していない	523	88.9	88.9
5	詳しく把握していない	5	0.9	0.9
	有効回答合計	588	100.0	100.0
	無回答			
	全体	588	100.0	

Q17貴校教職員のなかには, 職務の一環として, 自然災害に関する研修会や講演会を受講・参加している人がいますか.

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	受講・参加している教職員がいる	121	20.6	20.7
2	受講・参加している教職員はいない	374	63.6	63.9
3	詳しく把握していない	90	15.3	15.4
	有効回答合計	585	99.5	100.0
	無回答	3	0.5	
	全体	588	100.0	

Q18校内で、過去の災害の記録や、防災対策などに関する写真、パネルなどの展示を行ったことがありますか。ここで「展示」とは、複数の写真やパネルを並べて掲示するもので、啓発ポスターを1枚掲示するような形態は除きます。

No 選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1 常設の展示を行っている	11	1.9	1.9
2 期間を限った展示を行った	34	5.8	5.8
3 行っていない	516	87.8	87.8
4 詳しく把握していない	27	4.6	4.6
有効回答合計	588	100.0	100.0
無回答	0	0.0	
全体	588	100.0	

貴校では、以下のような内容についての紹介や学習を、教科教育・総合的学習の時間・特別活動などの場で実施していますか。

Q19岩手県で過去に発生した三陸津波、チリ津波などの津波災害について

No 選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1 児童・生徒全員を対象に実施している	72	12.2	12.3
2 特定学年にのみ実施している	111	18.9	18.9
3 一部の児童・生徒を対象に実施している	27	4.6	4.6
4 実施していない	340	57.8	58.0
5 詳しく把握していない	36	6.1	6.1
有効回答合計	586	99.7	100.0
無回答	2	0.3	
全体	588	100.0	

Q20岩手県で過去に発生したカスリン台風、アイオン台風などの台風や大雨による災害について

No 選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1 児童・生徒全員を対象に実施している	19	3.2	3.2
2 特定学年にのみ実施している	97	16.5	16.5
3 一部の児童・生徒を対象に実施している	34	5.8	5.8
4 実施していない	403	68.5	68.7
5 詳しく把握していない	34	5.8	5.8
有効回答合計	587	99.8	100.0
無回答	1	0.2	
全体	588	100.0	

Q21岩手県で将来発生が予想される地震、津波、台風や大雨による災害、火山災害について

No 選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1 児童・生徒全員を対象に実施している	112	19.0	19.1
2 特定学年にのみ実施している	75	12.8	12.8
3 一部の児童・生徒を対象に実施している	26	4.4	4.4
4 実施していない	333	56.6	56.8
5 詳しく把握していない	40	6.8	6.8
有効回答合計	586	99.7	100.0
無回答	2	0.3	
全体	588	100.0	

Q22自然災害を主な内容とした副読本・パンフレットの配布

No 選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1 確実に実施できる	245	41.7	42.2
2 実施の可能性は高い	249	42.3	42.9
3 実施の可能性は低い	75	12.8	12.9
4 実施は不可能である	2	0.3	0.3
5 回答できない	9	1.5	1.6
有効回答合計	580	98.6	100.0
無回答	8	1.4	
全体	588	100.0	

Q23教職員以外の外部専門家や災害経験者などによる、自然災害に関する講演

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
有効	確実に実施できる	16	2.7	2.8
	実施の可能性は高い	235	40.0	40.6
	実施の可能性は低い	281	47.8	48.5
	実施は不可能である	14	2.4	2.4
	回答できない	33	5.6	5.7
	有効回答合計	579	98.5	100.0
	無回答	9	1.5	
	全体	588	100.0	

Q24自然災害を主な内容としたビデオ・DVDの上映

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	確実に実施できる	53	9.0	9.1
2	実施の可能性は高い	362	61.6	62.0
3	実施の可能性は低い	148	25.2	25.3
4	実施は不可能である	3	0.5	0.5
5	回答できない	18	3.1	3.1
	有効回答合計	584	99.3	100.0
	無回答	4	0.7	
	全体	588	100.0	

Q25自然災害を主な対象とした展示・体験施設の見学

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	確実に実施できる	6	1.0	1.0
2	実施の可能性は高い	121	20.6	20.9
3	実施の可能性は低い	392	66.7	67.6
4	実施は不可能である	33	5.6	5.7
5	回答できない	28	4.8	4.8
	有効回答合計	580	98.6	100.0
	無回答	8	1.4	
	全体	588	100.0	

Q26教職員による自然災害に関する研修会や講演会の受講・参加(参加費は無料)

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	確実に実施できる	18	3.1	3.1
2	実施の可能性は高い	271	46.1	46.6
3	実施の可能性は低い	249	42.3	42.8
4	実施は不可能である	13	2.2	2.2
5	回答できない	31	5.3	5.3
	有効回答合計	582	99.0	100.0
	無回答	6	1.0	
	全体	588	100.0	

Q27過去の自然災害に関する写真・パネルの展示

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	確実に実施できる	44	7.5	7.6
2	実施の可能性は高い	317	53.9	54.7
3	実施の可能性は低い	192	32.7	33.1
4	実施は不可能である	10	1.7	1.7
5	回答できない	17	2.9	2.9
	有効回答合計	580	98.6	100.0
	無回答	8	1.4	
	全体	588	100.0	

Q28岩手県で過去に発生した津波や大雨などの災害について教職員が教えること

No 選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1 確実に実施できる	58	9.9	10.0
2 実施の可能性は高い	303	51.5	52.1
3 実施の可能性は低い	183	31.1	31.4
4 実施は不可能である	10	1.7	1.7
5 回答できない	28	4.8	4.8
有効回答合計	582	99.0	100.0
無回答	6	1.0	
全体	588	100.0	

Q29岩手県で将来発生が予想されている災害について教職員が教えること

No 選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1 確実に実施できる	50	8.5	8.6
2 実施の可能性は高い	321	54.6	55.2
3 実施の可能性は低い	169	28.7	29.0
4 実施は不可能である	12	2.0	2.1
5 回答できない	30	5.1	5.2
有効回答合計	582	99.0	100.0
無回答	6	1.0	
全体	588	100.0	

Q30通学路や学区内の防災マップ作り

No 選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1 確実に実施できる	104	17.7	17.9
2 実施の可能性は高い	264	44.9	45.5
3 実施の可能性は低い	167	28.4	28.8
4 実施は不可能である	15	2.6	2.6
5 回答できない	30	5.1	5.2
有効回答合計	580	98.6	100.0
無回答	8	1.4	
全体	588	100.0	

Q31仮に、学校側は時間を提供するのみでよいという条件で、授業時間中に、なんらかの防災教育を行うとしたら、1年間に何時間くらいを当てることが可能だと思いますか。最も多くの時間を当てることができる学年の場合についてお答え下さい。

No 選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1 15時間以上(1学期中の毎週1回以上)	1	0.2	0.2
2 10時間程度(1学期中の2/3の週に1回くらい)	1	0.2	0.2
3 5時間程度(1学期中の1/3の週に1回くらい)	20	3.4	3.4
4 2~3時間くらい	336	57.1	57.3
5 1時間	201	34.2	34.3
6 新たに授業時間を使った防災教育を行うことは困難だと思う	27	4.6	4.6
有効回答合計	586	99.7	100.0
無回答	2	0.3	
全体	588	100.0	

Q32貴校において、総合的な学習の時間や特別活動などの教科教育以外の時間に取り上げる題材・テーマとして、「自然災害」や「防災」は、他の様々な題材(「環境」など個別的テーマのほか、進路指導なども含みます)と比較すると、どの程度の重要性があると考えられるでしょうか。

No 選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1 非常に重要性が高い	40	6.8	6.8
2 重要性はやや高い	181	30.8	31.0
3 重要性はやや低い	313	53.2	53.6
4 ほとんど重要性はない	20	3.4	3.4
5 回答できない	30	5.1	5.1
有効回答合計	584	99.3	100.0
無回答	4	0.7	
全体	588	100.0	

Q34 貴校の学校種別を選んでください。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	小学校	348	59.2	59.3
2	中学校	170	28.9	29.0
3	高等学校	69	11.7	11.8
	有効回答合計	587	99.8	100.0
	無回答	1	0.2	
	全体	588	100.0	